

栄養サポート室



管理栄養士に関わる診療報酬について

当院は管理栄養士を各病棟に配置し、より質の高い栄養管理の実現に向けて日々活動しています。

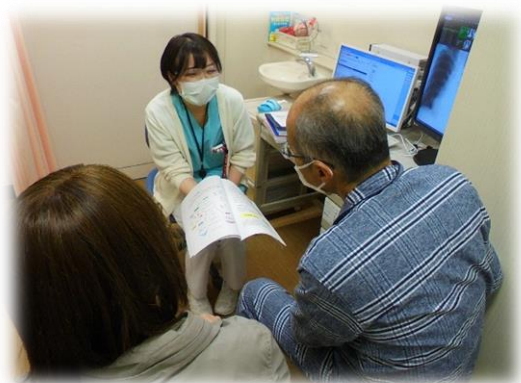
管理栄養士に関わる診療報酬		2021年度	2022年度※	
入院栄養食事指導料		5267	2131	件
外来栄養食事指導料	山鹿CL	2237	938	件
	紹介外来	2550	1239	件
がん専門管理栄養士による 外来栄養指導料（化学療法室）		823	334	件
集団栄養食事指導料		17	8	件
栄養サポートチーム加算		515	271	件
早期栄養介入管理加算		332	716	件
周術期栄養管理実施加算		-	247	件
退院時共同指導料2		724	368	件
栄養情報提供加算		101	23	件
摂食機能療法		4623	2331	件
個別栄養食事管理加算（緩和ケア）		-	1	件
糖尿病透析予防指導管理料		19	12	件
連携充実加算		166	266	件
入退院支援加算		2596	1324	件

※2022年度は10月までの延べ件数



入院個別栄養指導

栄養指導の必要な入院患者さんへ、医師の指示に基づき、実施しております。



栄養指導

本院では糖尿病教育入院を行っております。

教育入院とは、より良い血糖コントロールの為、実際に食事療法や運動療法を体験し、理解するための入院です。患者さん自身が、実生活でも食事の選択ができるよう支援しております。



外来個別栄養指導

外来受診の際など、外来患者さんに対して栄養指導を実施しています。

当院では、外来化学療法に係る栄養管理の充実のために、がん病態専門管理栄養士を配置しており専門性の高い、患者さんのニーズに合わせた指導が行われています。

また、体組成計 (InBody®) を利用し BIA (Bioelectrical Impedance Analysis) 法で、骨格筋量や体水分量等を評価し、その結果を踏まえながら栄養指導を行っています。



栄養サポートチーム（NST：Nutrition Support Team）

当院では各病棟に管理栄養士が常駐し、入院患者さん全員に介入しています。常に患者さんの状態や治療方針などを、医師・看護師はじめ多職種のスタッフと相談しながら、栄養サポートを行っています。

また、栄養状態の低下がある方や低下のリスクのある方を多職種で抽出し、一日でも早い回復ができるよう支援する NST が稼働しています。

NST 専従及び専任のための有資格者（2022.11 月現在）

医師 16 名 薬剤師 7 名 看護師 6 名 管理栄養士 12 名

栄養サポートチーム（NST）加算取得診療科

消化器外科

脳神経外科

心臓血管外科

耳鼻咽喉科

脳神経内科

循環器内科

上記、診療科以外でも非加算ですが NST カンファレンスを実施しています。

NST カンファレンスについて



NST カンファレンスでは、高い専門性を持った多職種が集まり検査や手術、栄養状態、治療方針についてなどミーティングを行っています。

栄養治療の方針を定め、退院へ向けた支援の必要性や食事環境の整備なども含めて情報共有を行っています。

NST カンファレンスの風景



病棟での栄養サポート



当院では各病棟に担当の管理栄養士を配置することで、入院時から退院まで切れ目のない栄養サポートを行っています。

日々刻々と変わる急性期の病態に対して、栄養面から患者さんのそばで随時栄養介入、サポートを行っています。

<実際の介入例>

当院では入院患者さんに、適正なタイミングで食事や経腸栄養を開始できるよう、検査データだけではなくフィジカルアセスメントを活かした栄養評価をしています。また、アレルギーの有無、入院前の食事状況、食形態はあっているかなど実際に患者さんを訪問し、適切な食事提供となるよう調整しています。



科内勉強会

当院では、栄養管理のスキルアップを目的に毎週勉強会を開催しています。

座学から症例検討、ケーススタディ、専門栄養士、専門医からの講義など内容も充実しています。

症例検討やケーススタディでは、スタッフ一人一人が意欲的に意見を出し合い、患者さん個々の改善に向けてどのような対応が望ましいか、若手、ベテランの壁なくディスカッションを行っています。



勉強会の風景